

国内初！川崎市のプラ資源リサイクルサプライチェーンにおいて 市内企業が ISCC PLUS 認証を取得しました ～家庭から排出されたプラ資源のリサイクルルートが見える化と環境価値を創出～

この度、川崎市が国の認定を受けたプラスチック資源の再商品化ルートにおいて、中間処理及び再商品化工程を担う株式会社 Jサーキュラーシステム（以下、JCS）が国際認証制度「ISCC PLUS認証」^{※1}を取得しました。これは、本市でプラスチック資源循環に向け、市民・事業者・行政が連携した取組を行うために設立した「かわさきプラスチック循環プロジェクト（愛称：かわプラ）」の事業者連携を通じて実現したものです。

これにより、**市民の皆さまが分別排出したプラスチック資源が環境価値の高い製品として活用される資源循環の価値を、国際的な認証に基づき見える化することによって、より分かりやすく示すことが可能となりました。**プラスチック資源循環法第33条^{※2}に基づく**国の認定を受けた再商品化ルートで複数事業者が関係するISCC PLUS認証の取得は、国内初となります。**

【国際認証によりプラスチック資源の資源循環が見える化】

本サプライチェーンでは、川崎市が市民の皆さまから排出されるプラスチック資源を収集し、JCSが中間処理及び再商品化工程の一部を担い、その後、株式会社レゾナックがケミカルリサイクル技術（ガス化）による再商品化及び製品製造を行っています。

今回、JCSがISCC PLUS認証を取得したことで、既に同認証を取得しているレゾナックとあわせ、**プラスチック資源の収集から中間処理、再商品化、最終製品製造に至るまでのサプライチェーン全体についてトレーサビリティ^{※3}を確保することが可能**となりました。

これにより、市民の皆さまが分別排出したプラスチック資源について、国際的な認証基準に基づき、回収から再商品化・製品化までの資源循環プロセスを第三者認証により証明することができ、客観的かつ透明性の高い形で示すことが可能となります。

また、再商品化された原料や製品は**ISCC PLUS認証品として取り扱うことが可能となり、環境価値の高い原料・製品として社会で活用されます。**

本取組は、本市が排出者として参画し、JCS及びレゾナックと連携することで実現したものです。これにより、これまでも適正に実施されてきたプラスチック資源のリサイクルについて、その資源循環の流れを第三者認証により明確に示すことが可能となり、**市民の皆さまに分別排出していただいた資源が環境価値の高い製品へと生まれ変わる資源循環の価値を、より明確に示すことができました。**

川崎市は、今後も事業者との連携を通じて資源循環の透明性と信頼性の向上を図るとともに、持続可能な循環型社会の実現に向けた取組を推進してまいります。

※1 ISCC PLUS認証

原料・中間材・最終製品がサステナブルであることを証明する国際的な認証制度です。サプライチェーン全体を通じて原料の発生源や加工履歴、数量、流通経路などを追跡・管理することで、資源循環における透明性の確保とトレーサビリティの実現に貢献します。

※2 プラスチック資源循環法第33条

市区町村が単独で又は共同して再商品化計画を作成し、国の認定を受けることで、認定再商品化計画に基づいて再商品化実施者と連携して再商品化を行う方法

※3 トレーサビリティ

製品や原料の由来や流通経路を追跡・証明できる仕組み

【連携事業者】

株式会社 J サーキュラーシステム

本社：神奈川県川崎市川崎区水江町 5 - 1

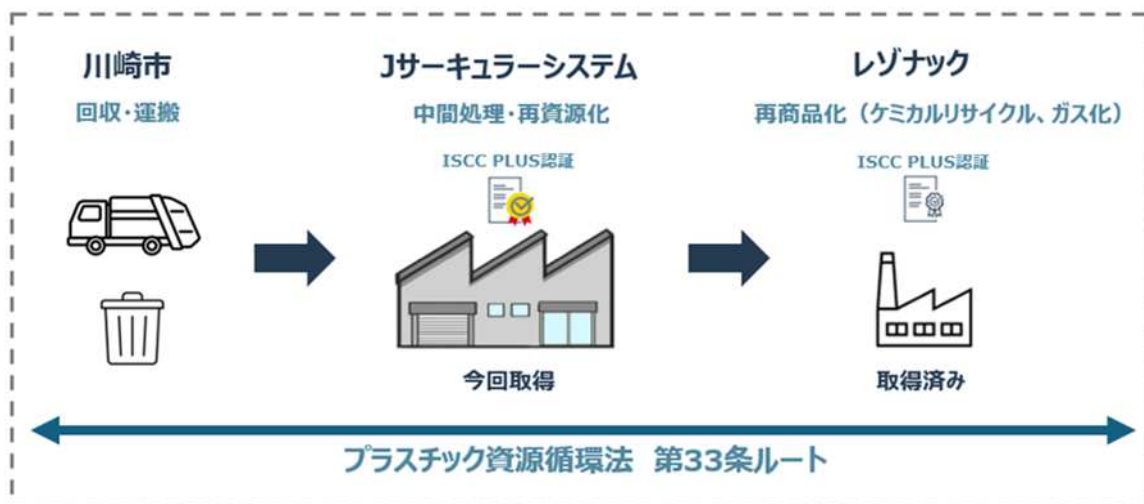
事業所所在地：同上

株式会社レゾナック

本社：東京都港区東新橋 1 - 9 - 1

事業所所在地：神奈川県川崎市川崎区扇町 5 - 1

【ISCC PLUS の認証範囲】



【問合せ先】

川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当 鈴木

電話 044-200-2557(内線:31101)